

【音源アラカルト】 ティン・パン・アレー時代のミュージカル・ソング

2017.5.14 後藤 栄一

ティン・パン・アレー(Tin Pan Alley)は、ニューヨーク5番街とブロードウェイに挟まれた28丁目の一角。I.バーリン、G.ガーシュウィン、J.カーン等の大物もそのキャリアをこの地でスタート。ティン・パン・アレーの存在は、19世紀後半～1940年頃までと言われる。今回は、その時代で生まれたミュージカル・ソングを、その当時の歌手でお楽しみいただきます(SP復刻LPをDSDマスター収録CD音源で再生※下記)。

1. タベの星よ降りてきて!(Come Down, Ma Evenin' Star)/Lillian Russell(歌手)1912(録音年) 2:50
(1902初演 John Stromberg, Robert B.Smith 作曲,作詞)



2. ユー・メイド・ミー・ラヴ・ユー(You Made Me Love You)/Al Jolson 1913
(1913 James V.Monaco, Joseph McCathy) 3:02



3. やさしき伴侶を(Someone to Watch Over Me)/Gertrude Lawrence 1927 2:44
(1926 Geoge Gershwin, Ira Gershwin)



4. 夜も昼も(Night and Day)/Fred Astaire 1932 3:29
(1932 Cole Porter, Cole Porter)



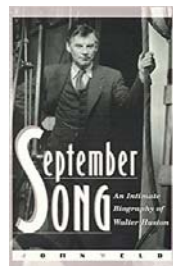
5. 煙が目にしみる(Smoke Gets in Your Eyes)/Tamara Drasin 1933 2:54
(1933 Jerome Kern, Otto Harbeck)



6. エニシング・ゴーズ(Anything Goes)/Cole Porter 1934 3:10
(1934 Cole Porter, Cole Porter)



7. 九月の歌(September Song)/Walter Huston 1938 2:55
(1938 Kurt Weill, Maxwell Anderson)



8. 私の心はパパのもの(My Heart Belongs to Daddy)/Mary Martin 1940
(1938 Cole Porter, Cole Porter) 2:34



9. 降っても晴れても(Come Rain or Come Shain)/Ruby Hill & Harold Nicholas 1946 2:54
(1946 Harold Arlen, Johnny Mercer)



10. 魅せられて(Bewitched, Bothered and Bewildered)/Vivienne Segal 1950
(1940 Richard Rodgers, Lorenz Hart) 3:11



※使用音源 再生機器 → 録音機器 (DSD) → CD-DA
SP復刻LP ROKSAN TMS TASCAM DV-RA1000HD
Ortofon MC-Jubilee Prelude RB-1(R.Clock)
A.CRAFT PE-6000

「ティン・パン・アレー時代のミュージカル・ソング」 演奏曲目解説 & トリビア

1. タベの星よ降りてきて！(Come Down, Ma Evenin' Star)

ミュージカル「Twirly Whirly」より。リリアン・ラッセルは、当時のオペレッタ界で最も有名な歌手・女優。後年新聞のコラムを書いたり女性参政権を主張するなど活躍。1940年には彼女の伝記映画「リリアン・ラッセル」が作られた。

2. ユー・メイド・ミー・ラヴ・ユー(You Made Me Love You)

ミュージカル「The HoneyMoon Express」より。当初ラグタイム用に作曲されたがアル・ジョルソンはテンポを落としバラードにしてヒットした。この歌25年後にジュディ・ガーランド(14,15歳?)が「ブロードウェイメロディ1938」で「ディア・ミスター・ゲイブル」として歌っている。

3. 優しき伴侶を(Someone to Watch Over Me)

ガーシュウィン兄弟の作詞・作曲。今やスタンダード・ナンバー定番の名曲。ミュージカル「Oh, KAY(万事円満)」挿入歌。ガートルード・ローレンスはイギリス出身のミュージカル女優、歌手、ダンサー。1951年のブロードウェイ「王様と私」でユル・ブリンナーと共演。

4. 夜も昼も(Night and Day)

コール・ポーター作詞・作曲のミュージカル「陽気な離婚」挿入歌。当時人気絶大なアステアが歌い歌もミュージカルもヒットした。2年後には映画「コンチネンタル」でも使われた。

5. 煙が目にしみる(Smoke Gets in Your Eyes)/演奏：Leo Reisman & His Orchestra

ミュージカル「ロバータ」挿入歌。1935年に映画化。タマラが、舞台上でロシアの亡命王女役としてこの曲を歌った。映画では主役のアイリーン・ダンが歌っている。ザ・プラターズのリヴァイバルで大ヒット(1958～59年)。恋の炎が消えた時煙が目にしみ涙が出るとの片想いの歌。

6. エニシング・ゴーズ(Anything Goes)

エセル・マーマン主演「エニシング・ゴーズ」。コール・ポーター最大のヒット作品。1988年と2011年にリバイバル上演され、いづれも大好評でどちらもトニー賞他各賞を受賞。映画も戦前、戦後と2回制作された。(1958年のTV版ではマーマン・シナトラ共演で)。日本でも1988年大地真央と植木等での舞台公演有。ここでは、コール・ポーター本人のピアノと歌で聴きます。

7. 九月の歌(September Song)

「ニッカボッカ・ホリデイ」挿入歌。俳優のウォルター・ヒューストンの声域に合わせ歌い易くした結果、誰でも口ずさめる歌となりヒットした。1952年の映画「旅愁」でジョーン・フォンティンが歌っている(吹替)。後に歌ったフランク・シナトラの名唱で定番化。

8. 私の心はパパのもの(My Heart Belongs to Daddy)

「おまかせあれ(Leave It to Me)」挿入歌。これもコール・ポーターの作品。メリー・マーティンが主演。この歌、1960年の映画「恋をしましょう」でイヴ・モンタンと共演したマリリン・モンローも歌い、彼女の代表曲に。ここではオリジナルのメリー・マーティンで。

9. 降っても晴れても(Come Rain or Come Shaine)

オール黒人キャストのミュージカル「セントルイス・ウーマン」挿入歌。当初レナ・ホーン主演予定が敵わず興行的失敗作に。「H.アーレン・J.マーサ」黄金コンビの名曲の一つ、その後ジャズメン好みのスタンダード曲となったのはご存知のとおり。ルビー・ヒルとハロルド・ニコラスの歌で聴きます。

10. 魅せられて(Bewitched, Bothered and Bewildered)

「パル・ジョーイ」で主演のヴィヴィエン・シーガル(当時48歳)が歌った。原作者ジョン・オハラは当初マレーネ・ディートリッヒを予定したが、ロジャース・ハートの進言でシーガルに。1950年彼女のレコーディングのヒット成功で、1952年にもブロードウェイで542回のリバイバル公演が行われた。1957年の映画版「夜の豹」ではシナトラと共演のリタ・ヘイワースがこの歌を歌った(吹替)。

